

NO.	発言者	内容	今後の対応案
①	西村会長	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策について、まちづくり会議で議論していくことは考えているか。 	<p>城下町の店舗について、まとまった組織体制がなく、情報の伝達や意見交換など、コミュニケーションが難しい状況にある。</p> <p>住民に対しても店舗がどのような対応をしているか、考え方をしているかを把握し伝える仕組みがない。</p> <p>感染症対策、防災対策という視点でも地域として対応できるような体制をどのように形づくるか、という議論は必要であるとする。コロナ禍で会議自体が実施できていないが、何らかの方法で意見集約や対話の機会を設定したい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理に関連して事業者の合意形成を図ることができる統一した組織が必要。 	同上
②	武田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲティングの話になった時、犬山市の場合は、欧米豪にも注目してほしい。 	<p>今回の戦略では、ホテルインディゴ完成後の観光の在り方も見据えた中長期の起点も包含していく予定であるので、欧米豪市場も視野に取り組みでいきたい。具体的には会議の中で引き続き議論を進めていただきながら取り込んでいく予定。</p>
③	梅川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・犬山らしさの議論について、本質的なものになるのもう少し深掘りしていきたい。 	<p>R2年度はコロナの影響や顕在化した課題を捉え、戦略骨子に反映するための議論を進めたい。その中で再度犬山らしさを深掘りする必要性を痛感しており、専門部会で取り扱っていただく予定。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・DMO (DMC) の構築 	<p>観光地経営マネジメントは必要と考えており、担い手や仕組みも含めた議論を専門部会で進めていただき方向性を見極めたい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの話を入れるべき。観光地版BCP 	<p>コロナ禍で大きな課題として顕在化しており、R2年度の専門部会で取り上げていただき議論を深めたい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・犬山らしいMICEの検討 	<p>R2年度で検討する内容の中心が「犬山らしさとは」としており、専門部会を中心に議論いただく予定。MICEについても取り上げていきたい。</p>
④	久世委員	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した雇用を生み出す戦略が必要 	<p>コロナ禍ではあらためて観光産業の安定雇用、平準化の必要性が多く説かれた。誘客、宣伝手法に留まらず、国が進める休日の分散化、平準化なども見守りながら取り組む必要があり、今後の会議でも取り扱いたいと考える。</p>
⑤	岩瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・犬山市ならではの素材を集め、発信することが必要 	<p>コロナを踏まえ、R2年度で検討する内容の中心が「犬山らしさとは」としており、専門部会を中心に議論いただく予定。素材の再認識は重要と考える。</p>
⑥	柴田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に観光客対応ができるのか 	<p>BCPはコロナ禍で大きな課題として顕在化しており、R2年度の専門部会で取り上げていただき議論を深めたい。</p>
⑦	服部委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昔栄えた観光資源が失われている。価値がなくなったのか、魅力がなくなったのかを考えて犬山らしさとは何かを考える必要がある 	<p>R2年度で検討する内容の中心が「犬山らしさとは」としており、専門部会を中心に議論いただく予定。コロナ禍を好機として価値の再発見を進め戦略に活かしたい。</p>